

猿田 享男^{*2}

はじめに

1995年に創設された財団法人医療研修推進財団は、2012年10月から公益法人医療研修推進財団となり、医師をはじめ各種医療従事者を対象とした教育研修事業を引き続き継続していくことになった。

1. 当財団の設立の目的

医療に関する各領域を横断的かつ総合的に捉え、高度な情報技術を活用することにより、医師をはじめ各種医療従事者を対象とした研修システムを開発し、このような研修の実施、関連団体が実施する研修への支援および関連情報の収集、提供を行うことにより、医療の質の向上に寄与することを目的として1995年10月に厚生労働大臣（当時厚生大臣）の許可を受けて創立された。

2. 現在実施している主な事業

研修教材の制作や環境整備を進めながら、受講者のニーズの調査、効果的な研修システムの研究・開発を通して作られた独立のプログラムに基づく実践的な医療研修を企画・実施している。また、既存の研修制度や職能別研修に関しても、レベルアップのための支援事業や、新規研修を実施している。

現在実施している主な医療研修・講習会は以下のようなものである。

1) 医師の臨床研修のためのプログラム責任者養成講習会

2003年度から、臨床研修協議会から委託され開催されている。医師臨床研修のプログラム責任者が円滑かつ効果的に臨床研修を推進し、研修医

の臨床研修目的達成を支援するために助言・指導とその他の援助並びに指導医に対する支援を適切に行うとともに、研修プログラムの実施を管理・調達・評価する能力を図ることである。

現在、1会場約50名で1泊2日の講習会を実施し、1年間約300名が受講している。

2) 理学療法士、作業療法士養成施設等教育講習会

理学療法士、作業療法士養成施設の教員の養成および資質の向上を図るため、1974年から厚生労働省の指導の下、関連各団体の協力を得て、新しい知識、技能を修得させ、併せてリハビリテーション医療の普及向上のための講習会を実施してきた。1997年度から、当財団がこの講習会の事務局を担当している。

3) 視能訓練士や診療放射技師の研修会の支援

4) 臨床研修病院ガイドブックの作成

臨床研修指定病院における研修プログラムや研修医に必要とされる情報をより具体的に掲載し、医学生、研修医、病院関係者に利用していただくことを目的として、ガイドブックが作成されてきた。このようなガイドブックの最初のものは、1983年11月に臨床研修研究会（現臨床研修協議会）から発行され、1996年度から当財団が委託されて、内容を少しずつ修正しながら毎年発行されている。

2001年より書籍から電子化に全面移行し、現在はCD-ROM版と当財団のホームページであるP-METを通じてのインターネットにより情報を提供している。

5) 医師臨床研修マッチングプログラム

2003年度から新しい医師の臨床研修制度が発足し、臨床研修指定病院における2年間の研修が必修化された。これに相まって、研修希望者は研修病院を自分で選択する仕組みが必要とされ、2002年度に厚生労働省の補助事業としてマッチ

^{*1} Foundation for Promotion of Medical Training

^{*2} Takao Saruta 医療研修推進財団理事長

表 1 マッチング参加状況と全体のマッチ率

	2004 年度	2007 年度	2012 年度
参加者数 (名)	8,283	8,543	8,471
希望順位登録者数 (名)	8,109	8,291	8,238
希望順位未登録者数 (名)	174	252	233
参加者最大希望順位登録数	50	24	28
参加者最小希望順位登録数	1	1	1
参加者平均希望順位登録数	4	3.48	3.96
研修ブロック数	1,076	1,357	1,380
参加病院数	851	1,090	1,015
募集定員 (名)	10,870	11,563	10,519
マッチ者数 (名)	7,756	8,030	7,908
マッチ率 (%)	95.6	96.9	96

(医師臨床研修マッチング協議会ホームページ <http://www.jrmp.jp/>)

表 2 最近の臨床研修病院と大学病院別研修医マッチング結果の概要

	2011 年度			2012 年度		
	臨床研修病院	大学病院	合計	臨床研修病院	大学病院	合計
参加病院数	906 (88.7)	115 (11.3)	1,021	901 (88.8)	114 (11.2)	1,015
研修プログラム数	1,015 (72.7)	381 (27.3)	1,396	1,005 (72.8)	375 (27.2)	1,380
募集定員	5,566 (52.8)	4,984 (47.2)	10,550	5,636 (53.6)	4,883 (46.4)	10,519
マッチ者数	4,205 (52.9)	3,746 (47.1)	7,951	4,299 (54.4)	3,609 (45.6)	7,908
空席数	1,361 (52.4)	1,238 (47.6)	2,599	1,337 (51.2)	1,274 (48.8)	2,611
1 位希望者数	4,918 (59.8)	3,307 (40.2)	8,225	5,052 (61.3)	3,186 (38.7)	8,238

(%)

ングシステム（医師臨床研修希望者と研修病院のお互いの希望を踏まえて一定の法則〈アルゴリズム〉に従い、効率的に組合せを決定するシステム）が構築された。また厚生労働省の指導の下に日本医師会、全国医学部長病院長会議、臨床研修協議会、医療研修推進財団の4団体からなる医師臨床研究マッチング協議会が設けられ、その事務局が当財団におかれ、2003年から研修医マッチングが開始され、その最近までの実績は表1の通りである。表2は、臨床研修病院と大学病院別に最近のマッチング結果の概要をまとめたものである。

2. 言語聴覚士国家試験・登録事務

言語聴覚士法（1996年12月19日制定）は、音声機能、言語機能および聴覚に関するリハビリテーションを行う専門職として、言語聴覚士の資格を定め、医療の普及と向上に寄与する目的で制定され、1997年9月1日に施行された。同法第12条及び第36条の規定に基づき、当財団が指定試験機関および指定登録機関として1997年9月30日厚生大臣（現厚生労働大臣）の指示を受け、国家試験事務および登録事務を行っている。

これまでに15回の試験を終了しており、第1回から2013年に行われた第15回までの受験者と合格者数を表3に示した。

表 3 言語聴覚士の国家試験, 免許登録の状況

(1)言語聴覚士国家試験実施状況

回数	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率 (%)
第 1 回	4,556	4,003	87.9
2	1,565	664	42.4
3	1,908	936	49.1
4	2,113	1,137	53.8
5	2,447	1,027	42
6	1,658	1,130	68.2
7	1,812	1,012	55.8
8	2,226	1,389	62.4
9	2,323	1,266	54.5
10	2,574	1,788	69.5
11	2,347	1,344	57.3
12	2,498	1,619	64.8
13	2,374	1,645	69.3
14	2,263	1,413	62.4
15	2,381	1,621	68.1
合 計	35,045	21,994	60.5

(2)免許登録者数

登録者数 20,714 名 (2013 年 3 月 31 日)